



自然界に生命がみなぎる4月、令和4年度が始まりました。
本校は3学年7クラスの小規模校ならではの良さを生かし、「能力の開発
善用」の校訓のもと、「師弟同行」の校風を大切に守りながら、生徒が自己
の成長を日々実感でき、一人一人が輝くことのできる学校、地域に開かれ愛
される学校をめざすとともに、「郷土愛を胸に自らの未来（人生）を切り拓
く力をそなえた生徒」の育成に真摯に取り組んでいます。
1年間、学校通信を通して「**吉川高校生の成長物語**」を綴っていきます。

「予祝」のすすめ - 1 学期始業式 -

4月8日（金）、1学期始業式が行われました。学年の階段を一つ上がり、「さあ、頑張るぞ！」と決意を新たにしている生徒たちに、校長は「予祝」という言葉を紹介しました。古代、農民の一番の願いは、稲穂がたわわに実ることでした。そこで彼らは、春に満開に咲き誇る「桜」を秋の「稲穂」の実りに見立て、先に喜び、お祝いをすることで秋の豊作を引き寄せようとしたのです。これが「予祝」であり、「**思考（強く願ったこと）は現実化する**」という考え方、**願いの叶え方**です。

「予祝」は生徒の進路実現・自己実現にも通じます。夢や希望が実現した成功のイメージを脳に記憶させると、続いて成功のイメージが具体化・現実化されます。新しい学年の始まりにあたり、「予祝」をしてから勉強や部活動に臨みましょう。「思い込み」が質の高い学習や練習、試合等に導いてくれるはずですよ。

「明日の自分にワクワクしよう！」-51回生入学式-

同日午後、入学式が挙行され、51回生64名の新入生を迎えました。51回生は、新学習指導要領施行の最初の学年であり、令和5年度には本校創立50周年を中堅として支える学年です。式辞で校長は、本校の新しい学校文化、新たな歴史を紡いでいく開拓者としての役割が期待される64名に、こう語りかけました。

「出会いには『新しい自分』との出会いもあります。人は最初から『わたし』があるわけではありません。いろいろな経験を重ね、試練にぶつかれば友だちや家族、先生の助けを借りながら一つずつ乗り越え、時には挫折しながらも、より望ましい『現在進行形のわたし』『新しい自分』を創りあげていくのです。春という季節の力も借りながら、『新しい自分づくりへの挑戦』を始めましょう。『自分と向き合い、今を大切にする』ことで、『自分と未来を変えることができる』みなさんを、全ての教職員、保護者の皆様、さらには地域の方々が応援しています。さあ、一緒に歩みを進めましょう。

合い言葉は、『明日の自分にワクワクしよう！—新しい自分づくりへの挑戦—』です。』



兵庫県立 **吉川高等学校**

Yokawa High School

〒673-1129 三木市吉川町渡瀬300-12

Tel 0794-73-0068 Fax 0794-73-0167

